

議 事 録		作成日	令和2年3月19日
		作成者	ジオパーク推進員 増野
会議名	令和元年度三島村ジオパーク推進連絡協議会		
開催日時	令和2年3月17日(火)9時28分		
参加者	別紙のとおり		
村長あいさつ	<p>コロナウイルスの関係で会議、イベント等が延期・中止になっているところであるが、県外委員の出席がないこと、また村としても重要な会議であるということで、開催させていただいた。三島村は再認定審査の結果、条件付き再認定であった。小さな離島ですから、いろいろなことに挑戦していき、来島者を増やし、交流人口を増やしていくためにも、ジオパークの取り組みは重要である。ぜひ2年後の再認定のために、委員の皆様からのご意見・ご要望を賜りたいと思う。</p> <p>地域の宝を認めていただいて、ジオパークに認定されている。それを活かして、島民がその宝を誇りに思い、様々な取り組みができればと思っている。今回の会議は事業報告だけではなく、2年後の審査にむけてのプランなど様々なご提案をさせていただく。委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いしたい。</p>		
議事	議事1) 令和元年度事業報告について	全会一致にて承認	
	議事2) 委員の任期について	質疑終了、新たな資料を作り、書面決議にて後日承認を受けることに。	
	議事3) 再認定審査結果について(報告)	全会一致にて承認	
	議事4) 基本方針およびアクションプランについて	全会一致にて承認	
	議事5) ジオガイド認定要綱について	全会一致にて承認	
議事内容	議事1) 令和元年度事業報告について		
	【協議結果】	全会一致にて承認	
	事務局	資料に基づき、令和元年度の事業報告について説明を行った。	
	玉利委員	大学・研究機関の方が三島村に来島され、調査・研究を進めていると思うが、学術情報等のフィードバックはあるか？調査・研究の報告書の提供状況はどんな感じか？	
	事務局	助成金を活用した場合は報告書は基本頂くようにしている。ただそれら調査が何か新たな知見や学術情報の更新につながってはならず、どういった調査を行ったかの報告くらいである。今後引き続き調査していきたいといった形で締められているものがほとんどである。	
議事内容	議事2) 委員の任期について		
	【協議結果】	新たな資料を作り、書面決議にて後日承認を受けるに	
	事務局	資料に基づき、委員の任期について説明を行った。	
	玉利委員	この議事については、日本ジオパーク委員会からの再認定審査報告書に挙げられている「Ⅲ 解決すべき課題」の8. 協議会と事務局の体制を見直す必要がある。・・・という課題に対応するために、協議会	

		の委員の見直し等を検討しているという考えでよろしいか。
	事務局	おっしゃるとおり、日本ジオパーク委員会からの再認定審査報告書「Ⅲ解決すべき課題」の8に対応するために委員の任期を今年度までとし、新たな委員の委嘱等を提案させていただいている。
	玉利委員	委員は部会に所属することになると思うが、部会については活動を進める際の責務、義務、費用的負担がどうなるのか、またどう考えているのかお教えいただきたい。
	事務局	委員と部会とは別である。委員がかならずしも部会に所属するとは限らない。部会については委員以外の方（若い方、積極的に関わっていただける方）も参加いただけるよう考えている。部会は下部組織になる。活動にかかる予算については、ジオパーク活動の予算と照らし合わせながら進めていくが、R2年度予算については、審査がぎりぎり部会予算に反映できない部分もあるかと思うが、活動しやすいように予算を組み替えるなども想定し、部会活動を推進できればと考えている。 補足ですが、委員の任期については、協議会要綱に定められておらず、協議会活動を活発化させる意味も込めて、また認定から4年が経つため、ジオパーク活動に積極的に取り組んでいただける方などを選任できればと、また外部有識者につきましても、三島村のジオパーク活動に積極的にかかわっていただける方を招致したいと考えております。
	オブザーバー： 棚次氏	以前は地域おこし協力隊として協議会委員を委嘱されていたが、今は傍聴者として招集されている。今後はこの部会活動の中で私の役が割り振られるということでしょうか？
	事務局	島内委員については区長に推薦いただこうと思っておりますので、棚次さんが委員なのか、部会として加わるのかは、段取りを踏んでどうなるのかわかると思う。
	徳田委員	今、各地区長さんが、委員として委嘱されているが、実情はほとんどジオパーク活動に関わっていない。今回のような形で、興味のある方、意欲のある方になってもらった方がいいのかなと思う。各地区何名ほど推薦していいのか。また我々区長ではなくても、興味のある方が入ってやっていけばいいのかなと思っている。
	事務局	各区長さん方にも魅力発見講座などで積極的に参加していただいております、また区長の声で、多くの方に集まっていたかと思っております。区長さん方の活動が活発ではないという意味ではなく、よりよい協議会にするために提案させていただいたところである。自薦も可能ですので、区長さん方もぜひ積極的に参加していただければと思います。人数については、具体的にはまだ想定してはいない。

教育長		<p>議事2の資料に「新たに委員の改選を行う・・・」とあるが、これは間違えではないか。</p> <p>また4つの部会ができるようだが、具体的な活動や具体的な人数が示されていない中で、委員もだれが決めるのか、自薦をすれば必ず承認されるのか、だれが自薦するのか。普通はこの人になっていただきたいという方をお願いするのではないか。漠然としているように感じる。</p> <p>そして委員の委嘱について規約はないのか。人数等を定めたような。</p>
事務局		<p>議事2の資料に「新たに委員の改選を行う・・・」については「新たに委員の委嘱を行う・・・」に修正をお願いしたい。</p> <p>自薦については区長さんのことである。島内の方を推薦していただいて、合わせて自分自身も推薦できますよということである。</p> <p>協議会の規約には委員の任期や委嘱について定められていない。</p> <p>検討していきたい。</p>
長濱委員		<p>部会は地区ごとに4部会設置するのか。ジオについて熱意のある方が委員をやるということがやはり良いと思う。部会を作ってもうまくいくのか危惧しているところではある。やる気を起こさせる方向で委員をもっていかないといけないと思う。やる気のある方を、という言い方だったら、うまくいかない。みんなでやる気を起こさせるようにしていく必要がある。</p>
事務局		<p>各地区ごとに4部会を設置ということは考えていない。更によい活動にしようと考え、そういった意味で委員をいったん委嘱しなおそうと考えている。県外委員の方が今いますが、より協力的な方を招致したり、島内委員についても、やる気のある方を中心に委嘱したいと考えている。</p>
日高委員		<p>委員は公募制がいいと思う。公募でいなければ区長の推薦、別のやり方で選んでいくという方がいいのではないか。</p>
教育長		<p>募集してきた人を誰が決めるのか、募集した方を協議会に提案して、協議会の中で決めるといった流れであればいいと思う。要綱に任期とかもろもろ定めた方がよい。</p>
東川委員		<p>再認定審査の課題に対応するためにこれらの議案を出したと思うが、協議会の委員については今までの委員でいいと思う。部会を協議会の中に設けず、活動班として、各地区で活動してる方の活動自体を部会の活動として位置付けて、拾い上げ、協議会で部会活動報告として報告するのがいいと思う。協議会の委員は今の方でいいと思うが、島の中に部会の活動を作っていく。活動を地域の中で細分化することが重要なのかなと思っている。この人はこの役割というのを見える化・活動してくれる人を整理していくことが大切である。部会の人</p>

		協議会に入らなくてもいいのではと思う。桜島・錦江湾ジオでも委員になってなくても活動している人は多くいる。あそこの部会はいいい活動をしてるな、じゃあ今回はあそこに予算を付けて自由に活動してもらおうといった方がいいのではと考える。地域で会があったときに声をかけてくれるこれだけでもジオの活動だと思うので、それぞれの活動を活発にしていくためには部会はそれぞれの島の中に入れ込んでいった方がいいと思う。こんな感じで部会を設けましたということを書いていけば日本ジオパーク委員会も何も言わないと思う。それがクリアする条件だと思う。
	事務局	皆様から頂いた意見をもとに、協議会と部会の位置づけを明確にし、新たに資料を作成し、書面決議にて承認いただきたいと考えている。部会の中に委員を入れるのかについても考えたい。
議事内容	議事3) 再認定審査結果について(報告)	
	事務局	資料に基づき、再認定審査結果の報告をした。関連があるのでそのまま議事4に移った。
	【協議結果】	全会一致にて承認
議事内容	議事4) 基本方針およびアクションプランについて	
	【協議結果】	全会一致にて承認
	事務局	資料に基づき、再認定審査の課題にも挙げられていた各島のジオパーク活動の基本方針や2年間で課題にどう対応していくのかを示したアクションプランについて具体的な説明を行った。 事務局より特に島別の基本方針については、各委員の方にご意見をいただければと思う。と加えて説明があった。基本方針に基づいて基本計画を策定していく。
	日高委員	黒島では鹿児島国際大学が精力的に調査を行ってきた。彼らの協力をもらいながら活動を進めていけば、黒島のジオパーク活動はより良いものになると思う。島民の方は注目をしている。これを絡めていけばジオについて地域の方はもっと関心を持つと考える。
	事務局	令和2年度は鹿児島国際大学と連携し、黒島での遺跡継続調査を予算化している。調査の中で黒島の人々の暮らしと火山の影響を探り、黒島をジオパークとしっかりと結びつけたいと考えている。
	長濱委員	ジオパーク関係の横断幕の掲示について記されているが、ここがジオパークの島だよ！というようなものをフェリーが港についたときにパッと見えるように作成した方がいいと思う。島民に材料を提供し、手作りで作らせてもいいと思う。
	事務局	参考にさせていただきたいと思います。
	長濱委員	以前活魚センター横に設置していたジオパーク看板が活魚センター改修の関係で、取り外され、雨ざらしになっている。その看板をどこ

		かに設置していただけないか。
事務局		ご指摘いただいた件は検討いたします。
オブザーバー： 棚次氏		東川委員に三島村(硫黄島)で活かしきれていないなと思うところをご教授いただけないか。島外の方からの視線を参考にしたいと考えている。
東川委員		活かしきれていないというか、ガイドがいるという情報、ガイド料金がいくらなのか、どんな時間でどれくらいのガイドできるか、来島者が知りたい情報がまとまっていないということがもったいないと思う。例えば島についてきたときに「こんな感じで遊べますよ!」「こういう感じの2時間のコースがありますよ」といったような島でのメニューが明確化されていれば、来島者からの依頼も増えると思う。またそれらをホームページ等で発信することが重要。コースとネタは問題ない。素材はある。そういった部分を情報として提供してあげることが必要だと思う。部会を作ったときにそういった話もするといい。その時に重要なのが、ボランティアでやらない。儲からない感じでやらないということが重要である。しっかりやれば儲かるようになると思う。例えば屋久島であれば一人1500円でガイドをしている。それでも安いと思う。映画の料金が1800円くらい、2時間で2000円というのはそこまで高くない。来島者もこれくらいの料金設定であれば出さないことはないと思う。そうすれば、ガイドにもある程度お金が入り、活発になるのでは。いま述べたものが足りないことなのかなと考える。
東川委員		<p>ジオパークはユネスコの正式プログラムになってから、昔と比べ面白くなくなっている。窮屈になってきている。効果の割に求めるものが高度になってきている。世界遺産など類似のものがあるが、それとジオパークは違う。世界遺産はガチガチにお金をかけて保護保全しても、人が来るといった効果がある。ジオパークは大した効果がない。なのに求められるものは世界遺産的になっていっている。三島村の再認定審査の結果についても、日本で一番小さなジオパークにこんなこと求めるのかとってしまう。日本ジオパーク委員会に文句言いたい。マーケティングについて課題としてあげているのは、他の地域ではできないからだと考える。三島村であればできるのではということ、課題として提示しているのではと思う。天草の件もあり、ジオパークとして効果を出していきたい。効果を見えるようにしたということが日本ジオパーク委員会としてあるのではないか。これを三島村に求めるのはどうかと思うが、これらのデータは三島村全体の活動、定住人口、交流人口を増やす意味でも役に立つことなので、取り組んでもいいと思う。</p> <p>防災はジオパークにとって重要である。三島村は報告書を見ると教</p>

		<p>育面がすごく充実しているが、防災はまだまだ。例えば桜島・錦江湾ジオは桜島の防災プランを世界に売り出そうとしている。それとジオパークが連携してよい取り組みになってきている。審査員が防災について指摘しているのは、島に行ったときに防災してますよということが見えないから。宿に防災のパネルでも貼ってあれば、それだけでも審査員は納得すると思う。</p> <p>ジオ看板は、デザインも含めて素晴らしいと思う。硫黄島についている看板は学術情報についても大岩根氏のおかげか、すごく分かりやすい。風景が写真として看板になっているので、現物と照らし合わせながら見ることができるので見やすい。こういった看板のデータを住民に配るだけでも、ジオパークの活動だと思う。竹島港の地層なども看板があると説明がしやすい。三島村の看板は誇れるものであると思う。竹島にも共同墓地があるということを知って行った。ここから語れることも多い。身近なものが実はジオということも多く、住民からの発言をジオにつなげていく活動が重要なのかなと思っている。そういったものをまとめたものを例えば公共施設やカフェなどに設置するだけでも委員は納得すると思う。見える化のためにどうするかということが重要である。玉利委員からもあったが、大学が調査をするが情報がフィードバックされない。というのはどの地域であること。フィードバックをさせるようにしてほしいと思う。そういった論文等も、カフェ等に掲示しておけばいいと思う。助成金を出しているのであれば、しっかりと論文を出してもらった方がよい。</p>
事務局		参考にさせていただきたい。
玉利委員		観光アンケートの分析が2021年2月、3月に実施する計画になっているが、としまのドック期間中の9月などの、時間があるときに集計するといいかもしれない。そしてそれを元に基本計画を策定した方がよいと考える。分析を9月、10月頃に早めて実施するのが良いかと思う。
事務局		参考にさせていただき、分析時期については検討したい。
教育長		ジオサイト看板についてですが、難しい専門用語が多い。難しいとそこで読みたくなる。専門的な用語を解説したものがあればいいと考える。
オブザーバー棚次氏		学術情報は年々更新されるもの。次の差し替えの時に検討したい。例えば船倉がどういうことを意味するのかなど解説するようなものを作成したい。看板データにフリガナを振ったりすることも可能である。

議事内容	議事 5) ジオガイド認定要綱について	
	【結果】	全会一致にて承認
	事務局	ジオガイド認定要綱(案)について説明を行った。委員の意見を求めた。
	日高委員	ガイド中の事故等については保険等・対応・負担金などはどうするのか。黒島は地形が悪いため、慎重に考えるべきである。また各島で基準が違ってくればおかしくなるので、そういった点も検討すべきである。
	事務局	硫黄島ではガイドが保険をかけるかかけないか選ばせている。かける場合はガイド料から差し引く形をとっている。強制的にかけさせているとはない。各自の判断である。ガイドが本格化した場合は、しっかりと考えていかなければならない。ガイド要綱の中に保険料について明記したり、無理であれば行政の支援をもらいながら、軌道に乗ってきたら、傷害保険をガイド料の中で徴収できるようにするなど検討したいと思う。
	東川委員	<p>ガイド協会を立ち上げた方がよいかもかもしれない。他の地域では年間でボランティア保険といったものを掛け、活動の中で事故が起こった際、保険が出るようにしているところが多い。ガイド料の中で保険料まで徴収するような地域が多い。ガイド団体をたちあげると保険に入りやすくなり、依頼者も安心できる。</p> <p>三島村のガイド要綱は日本で一番緩い。敷居を低くしすぎるとしゃべれないという方も出てくると思う。桜島・錦江湾ではジオサポーターという方も認定しており、安全の確認を行うガイドの補助的なことをする方である。ガイド認定したけど、あなたはサポーターねといった認定も必要かもしれない。ホームページに氏名を公開すると、頼んだのにしゃべれないといった事態も発生するかもしれない。ここは詰めていかないといけない。ガイドさんも歴史が得意、文化が得意といったような得意分野があるかと思う。そういったガイドの役割はガイド組織を作って協議していくといいかもしれない。敷居を低くして、たくさん参画者を増やして、自己研鑽も含めて、だんだん慣れていくという活動にもっていくためには組織が必要であると思う。</p>
	教育長	養成講座は来年度から始まるのか。年間何回予定している。
	事務局	施行日を令和元年 4 月 1 日からにしている。今年度も講座（魅力発見講座）を実施しており、参加者も記録している。R 2 年度はおおむね 4 回の開催を予定している。
	日高委員	島でも植物や歴史などについて非常に詳しい方がいる。そういった方たちと一緒にガイドマップなどを作るといいかもしれない。作ったものを用いてガイドをするといったこともいいのかもしれない。それ

		をガイドの教材として活用するといいかもしれない。
	事務局	部会活動を活性化していき、島民の方と連携しながら、協議し、ガイドマップ等も作っていければいいのかなと思っている。
議事 1～議事 5 まで用意された議事は以上		
その他	委員から特になし。	
	村長あいさつ	<p>2015年に認定された時も課題があり、それを踏まえて審査に挑んだ結果、条件付きの再認定であった。今回の審査の課題に挙げられていたマーケティングの件は、村としてやってこなかったこと。村としては再認定審査後に出された課題に対して取り組んでいくことが、重要なデータの蓄積につながり、ジオパーク以外の村の振興にもつながる。防災の話もあったが、いつ噴火するのか予想できないので、防災についてはしっかりと取り組んでいきたい。教育については、次年度から三島学園となり、今年度からはジオ科も創設されている。挙げられた課題に取り組むことが、村が自治体として存続していくことにつながるという認識で取り組んでいく。委員の皆様には今後ともご協力、ご支援をお願いいたします。</p>
閉 会 (11 時 34 分)		